

第1学年（普通・理数科） 学習指導案

1. 単元名 A 1 生活設計（1）
C 1 経済計画

（教科書：教育図書 家庭基礎 つながる暮らし共に創る未来）

2. 本単元の目標

- (1) 人の一生について、自己と他者、社会の関わりから様々な生き方があること、家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解するとともに、自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深める。
- (2) 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて理論的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計や、生活における経済の計画について、課題の解決に主体的に取り組み、振り返って改善して、地域や社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図り、実践する。

3. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人の一生について、自己と他者、社会の関わりから様々な生き方があること、家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解しているとともに、自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。	生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて理論的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計や、生活における経済の計画について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域や社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図り、実践しようとしている。

4. 単元について

(1) 教材観

生涯を見通し、自立した生活を営むために必要な家計の構造や生活における経済と社会との関わりを知ることで、自分に合ったライフプランニングができる目的とする。また、金融機関の外部講師による出前講座を行うことで、家計管理とライフプランニングの関連性や、資産運用などについても考えることや、新聞の人生案内（読売新聞）などを利用し、生活する上で起こりうる課題について、生活資源の中から最善策を考察し、課題解決について主体的に取り組む目的とする。

(2) 生徒観

本校では1年生で家庭基礎2単位を履修するため、家庭科の視点から自己自身の将来を見通すライフプランニングを作成することができるカリキュラムマネジメントが重要である。

生徒は担任をしている1年5組（40名）普通、理数科の生徒である。明るく活発な生徒が多く、部活動への加入率が高いクラスである。全員が大学進学を望んでおり家庭科教育の中で、生涯の生活設計やキャリアプランニング等と関連づけ、年間を通じて行う生活設計の学習に繋げることを目的としている。

(3) 指導観

一人一台端末やスマートフォンを活用し、より現実的なライフプランの作成に繋げる。また、外部講師と連携した授業を行うことで体験型の授業になる目的とする。

5. 指導計画（13時間扱い）

〔1〕自分の将来を見通そう	1時間
〔2〕これから的人生に向かって	2時間
〔3〕家族・家庭とはなんだろう？	4時間
〔4〕将来の経済計画を考えよう（「高校生のための金融教育 出前授業」）	2時間
〔5〕からの家庭生活と社会	2時間、各单元末、年度末
〔6〕まとめ	2時間 [本時]

時間	ねらい・学習活動	重点	記録	備考
1	<p>生涯を見通すということ</p> <p>【ねらい】生涯発達の視点で各ライフステージの特徴と課題について理解し、自分の目指すライフスタイルの実現に向けて、問題を見出して課題を設定することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元を貫く課題を確認し、単元を貫く課題への自分の考えをまとめる。 ・アンケートに「人生を生きるために必要だと思う力」を3つ選んで入力し送信する。 ・これからの自分の将来を考え、ライフプランニングシートの作成をする。 ・本時を振り返り、アンケートに回答する。 ・アンケートのグラフ結果から、クラスの人の意見を知った上で「LIFE SHIFT～100年時代の人生戦略」の資料を読み、考えを整理する。 	主 思	○ ○	<p>【单元全体を貫く課題】</p> <p>人生100年時代を自分らしく生きるために必要なスキルとは何かについて考える。</p> <p>●アンケート</p> <p>・自分自身について客観的に分析し、自分の目指すライフスタイルの実現にむけて問題を見出し、課題を設定している。</p> <p>ワークシート</p> <p>●アンケート</p> <p>・課題として授業後に自宅にて実施。</p> <p>●資料</p>
2・3	<p>「自立」するということ</p> <p>【ねらい】青年期の課題である自立や生活課題に対応した意思決定の大切さを理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活を振り返り、自己の自立に関する問題点を整理し、これから家庭科で身につけるべき力について考える。 ・「大人になるってどういうこと？」の動画を視聴し、多様な価値観に気付くとともに、自己決定の大切さについて理解する。 ・レポート課題「様々な家族の形」・「LGBTQ+」・「自閉症」・「デートDV」 	態 知 主	○ ○ ○	<p>・自立した生活に向けて問題を見出して、課題を設定し、課題解決に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>ワークシート</p> <p>・青年期の課題や生活課題に対応した意思決定の大切さを理解している。</p> <p>●アンケート</p> <p>・課題として授業後に自宅にて実施。</p> <p>レポート課題</p>

4 ・ 5 ・ 6 ・ 7	<p>家族をつくるということ、仕事をするということ</p> <p>【ねらい】 多様な価値観がある現代社会において、家族・家庭の定義や機能、法律等について理解し、課題解決について主体的に取り組むことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族、家庭の定義や機能、法律（民法等）について考える。 ・コロナ禍で、家族・家庭内で起こった状況を整理し、課題を調べる。（反転学習） 例) 子が学校休業でも仕事は休めない、在宅勤務をする場所が無い、DV、給付金の振込先が世帯主であることによりトラブル等 ・家族、家庭と仕事のバランスを意識した生き方について考える。 ・作成したサイトをお互いに共有し、コメントを残す。数名が発表する。 ・ワークライフバランスについて大切なこと、印象に残ったことを記入する。 	知	<ul style="list-style-type: none"> ・時代と共に変化する家族、家庭の特徴や機能、法律について理解している。 <p>●アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立した生活に向けて問題を見出して、課題を設定し、課題解決に主体的に取り組もうとしている。 ・多様な社会において、家庭や社会を築くことについて考え方工夫している。 <p>●パフォーマンス課題（サイト）</p> <p>パフォーマンス課題 コロナ禍で、家族・家庭の中で起こった状況を整理し、課題を調べ、サイトを作成しお互いに共有し、発表しよう。</p>
本時 8 ・ 9	<p>将来の経済計画をしよう</p> <p>【ねらい】 自立した消費生活を営むために家計の管理や計画、適切な意思決定に基づいて行動することなどについて、課題解決について主体的に取り組むことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ライフプランイベントとお金/マネープランの立て方」の動画を視聴し、これからの中長期人生設計をイメージする。 ・お金の計画表～30才までのライフプランニングを立ててみよう～（●反転学習） ・資産運用の必要性に関して理解した後、事前に作成しておいたお金の計画表を共有し、数名が発表する。専門家からのアドバイスを頂く。 ・人生100年時代を生き抜く事を想定し、中長期の資産運用のシミュレーションを行い、改善策について考える ・成年年齢引下げに伴い、今後考えられるお金に関するリスクを理解し、金融商品の特徴やクレジットカード等に関して理解を深める。 ・本時を振り返り、アンケートに回答する。 	思	<ul style="list-style-type: none"> ・金融機関が作成した動画は、夏季休業課題として視聴する。 ・授業前に課題として各自で行っておく。 ・事前に作成しておいたワークシートを参考に、30才までのシミュレーションをグループで共有し、自分のシミュレーションと比較することができる。 <p>●ワークシート（表計算ソフト）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの中長期人生を資産運用と同時にシミュレーションすることで、より具体的に将来を考えることができる。 <p>●アンケート</p>

	生活設計をするということ			
10 ・ 11	<p>【ねらい】自己の目指すライフスタイルを実現するために、生涯を見通してライフプランを考え、工夫することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフプランをダウンロードし、17～100歳までのプランを作成する。 ・理想のライフスタイルを実現するための、短期・中期目標を考える。 	態	○	<p>けた新たな課題を見つけて、次の実践に向けて取り組もうとしている。</p> <p>●ワークシート（表計算ソフト）</p>
各单元末、年度末	<ul style="list-style-type: none"> ・各单元終了後及び年度末に、ライフプランシートに色を分けて入力し、これまでの学習を関連付ける。 ・今後のライフプランについて発表する。 ・年度末には、単元全体を貫く課題に体する学習後の考えを記入し、学習前と学習後の記述内容を比較する。 <p>【单元を貫く課題】</p> <p>人生100年時代を自分らしく生きるために必要なスキルとは何かについて考える。</p>	主思	○○	<p>・各单元の学習を踏まえ、生活設計を具体化し、修正しようとしている。</p> <p>●ワークシート（表計算ソフト）</p> <p>・自己の目指すライフスタイルの実現に向け、人生100年時代を生き抜くためのライフプランニングを考え、発表することができる。</p> <p>●ワークシート（スライド）</p> <p>・自己の目指すライフスタイルの実現に向けての一連の活動について、考察したこととを論理的に表現している。</p> <p>レポート課題</p>
本時まとめ	実践力をつけよう			
	<p>【ねらい】生活の中で、これから起こりうるかもしれない課題や問題に対して、生活資源の中から課題を解決し主体的に取り組むことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習を踏まえ、新聞に寄せられた様々な悩み相談をもとに、今後の生活の中で起こりうる課題について、グループで最善策を考え発表する。 	思	○	<ul style="list-style-type: none"> ・これから的人生の中で様々な問題に直面した際も、必要な情報を取捨選択し、問題を解決しようとしている。 <p>●ワークシート（スライド）</p>

6. 本時の学習

(1) 本時のねらい

生活の中で、これから起こりうるかもしれない課題や問題に対して、生活資源の中から課題を解決し主体的に取り組むことができる。

(2) 準備物

生徒：タブレット、スマートフォン、スライド

教師：教科書、資料集、電子黒板、PC、振り返りシート

(3) 本時の展開（5分×1コマ）

時間 (分)	学習活動	指導上の留意点	評価場面・方法
5	・本時の流れの説明を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の内容について説明する。 ・スライドのまとめ方について説明する。 ・評価について説明する。 ・5人のグループを編成する。 ・班の代表者にカードを引かせる。 	

実践力をつけよう

【ねらい】生活の中で、これから起こりうるかもしれない課題や問題に対して、生活資源の中から課題を解決し主体的に取り組むことができる。

3	・カードに書いてある内容をグループで共有する。		
5	・問題の把握。		
30	・グループで話し合いをする。 ・スライドにまとめる。	・事前にグループでスライドを共有させておく。	
7	・中間発表（2班程度）する。		
5	・アンケートに回答する。		<p>●評価方法 Google forms 主体的に学習に取り組む態度</p>

記録に関する評価の評価方法・場面の具体

- ・生徒はグループで Google スライドを作成。スライドの内容や発表の様子を評価する。
- ・生徒はアンケート（Google forms）を Google Classroom で送信する。送信されたアンケート結果を授業外で評価する。

○班 メンバー（氏名）

1. 悩みについて（要約）

2. 解決方法

.....

.....

3. 相談者へアドバイス

スライドの例⇒

ループリック

<評価項目>

おおむね満足できる状況（B）	十分満足できる状況（A）	「努力を要する」状況（C）と判断した生徒への手立て
<p>【思考・判断・表現】</p> <p>生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性についての知識を活用し、おおむね合理的に考察し表現している。</p>	<p>生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性についての知識を活用し、生活資源の中から課題解決に向け論理的に根拠に基づいて合理的かつ創造的に考察し、分かりやすく表現している。</p>	<p>これまでの学習内容のプリント、レポート、振り返りシート、動画等を見ながら課題に気が付くように支援する。</p>